



国立競技場における陸上競技大会利用 ～陸上競技場用器具の取扱い～

陸上競技用器具の 取扱いについて

国立競技場では一昨年、老朽化した陸上競技用器具（以下「器具」という。）の更新と電子機器等の台数を増やしました。

器具の使用については、それぞれのスタジアムによって貸出しや使用方法などが取り決められていると思われませんが、ここでは国立競技場の現状と課題についてご紹介させていただきます。

◆大会前

器具をご利用いただく場合、陸上器具使用申込書を提出していただきます。提出いただいた申込書を基に、競技会の規模などを検討し、使用器具を決定します。

器具の中には、電子機器と言われる機器があり、事前に充電等が必要となる場合があります。これらを準備・点検することも、スムーズな大会運営をする上で重要なポイントになります。そのためにも、どの器具を何台使用するか事前に申請していただきます。

◆大会当日

『設営前』

器具の取扱いを最終決定

はじめに、大会主催者と器具の取扱いの最終決定を行います。大会当日に最終決定を行う大きな理由とし

て、電子機器は水、衝撃に弱く、雨や強風など悪天候の場合に故障するケースがあることから、このようなタイミングで最終決定をします。（※悪天候の場合でも、養生等の適切な対応を行えばほとんど問題ありません。）

また、器具は配線や操作が複雑なものも多く、配線ミスなどは故障の原因となるため、使用前に取扱責任者が操作経験者であることを確認します。

『設営時』

ケールカバーや芝養生を依頼し、設営に当たり、まずケールカバーや芝養生などを実施するようお願いしています。

これは、陸上競技の場合、トラック競技だけでなく、フィールド競技などが同時にスタートするため、設営は各ビットに分かれ一斉に行われることになり、そのため、運搬などの際にケールを断線し、競技運営に支障をきたす場合があるからです。また、電子機器の修理には大きな経費や時間がかかるため、シーズン中は特に主催者に対し細心の注意を払っていただくようお願いいたします。

さらに、当競技場は多目的競技場であることから、サッカーやラグビーの試合に支障がでないよう、芝生についてもきちんとした養生を実施していただきます。例えば、芝生



陸上競技大会の様子



写真判定装置

内に器具を持ち込む場合には、芝生に直接置くことで起こりやすい芝の変色や不陸(凹凸)を防止するため、スノコやコンパネによる養生をお願いしています。

「競技開始」

開場前に利用料金算定に関わる使用器具の利用状況を、打合せ内容と違いがないか主催者と確認します。違いがあった場合、追加理由を確認

し、使用器具によって追加請求が必要となることを了承していただいた上で、最終的に貸出しの判断をします。

競技中は、職員が大会の様子を見ながら、未然に事故を防ぐため、器具が正しく使われているか、選手動線に用器具が置かれていないかなどを確認します。

また、貸出し中のためスペースが空いている器具庫を少しでも利用者

が使いやすいよう、掃除や整理整頓を行います。

「撤去時」

撤去は、競技が終わった種目から随時行われます。そのため、競技の妨げとならないよう注意をした上で実施します。その際、コードの入れ忘れや運搬時の破損・傷がないか確認していただきます。

また、電子機器に関しては、使用中の不具合や損傷等を確認するため、利用報告書の提出をお願いしています。

全競技終了後は、トラック上に忘れ物がないかを見回ります。その後、気付いた点や注意点を次回のご利用までに改善していただくよう主催者にお伝えします。

◆まとめ

器具の取扱いについての課題とその対応

競技会での器具の使用に当たっては、取扱いについて十分注意して頂くことになっています。しかし、器具の破損はほとんどが取扱いに問題があるようです。

具体的な例として、
○機器用コードの無理な繋ぎ込みによる故障

○コネクターの無理な引き抜きによる断線

○乱雑な運搬による損傷などが挙げられます。

器具の破損については、経年劣化によるものは除き、取扱いに際して過失が認められる場合は、競技会の主催者に対して原状復帰をするようお願いしています。

こうしたケースの外にも、過失について微妙な判断をせざるをえない事例も発生しています。例えば、競技用のハードルは、通常の競技中のハードリングで足を引っ掛け倒れたときの衝撃程度では壊れないよう設計されていますが、競技前の練習時に選手がハードルを手でなぎ倒すことで、不自然な衝撃を受け歪みが生じることがあります。また、競技会中の降雨や風による機器の転倒・浸水については、雨天カバールの準備や十分な風対策(使用しない時は器具庫に引き下げるなど)を行えばほとんどの事故は未然に防ぐことが出来ると考えられます。

しかしながら、不注意による器具の破損は絶えません。厳しい予算状況の中で準備した高価な器具がちよっとした不注意で壊れてしまうという状況はなんとか防いでいかなければなりません。それには器具を実際に使用する方々のご協力が必要不可欠です。

スタジアムに来る選手やそれに携わる方々が気持ちよく競技し、大会の運営がスムーズに出来るよう、施設管理者として器具の管理方法を引き続き検討していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。